

世界を視野に宮崎大学から 始める新薬開発への挑戦

宮崎大学では、1984年の心房性ナトリウム利尿ペプチドの発見を皮切りに、10を超える新規生理活性ペプチドが発見されており、そのいくつかは、すでに心不全の治療薬や診断マーカーとして、世界各国で臨床応用されています。

『世界を視野に地域から始めよう』をスローガンとする本学ならではの、世界に貢献するペプチドホルモンの基礎研究から新薬開発までの歩み、そして挑戦を紹介します。

入場無料・申込不要
どなたでもご参加できます。

令和2年

火
祝日

2月11日 14:00-16:15

会場／宮崎観光ホテル・東館 3階^{ひょう} 住所：宮崎市松山 1-1-1

司会／伊達 紫（宮崎大学理事・日本学術会議九州・沖縄地区会議連携会員）

PROGRAM

14:00～14:10 開会挨拶

武内 和彦（日本学術会議副会長）・池ノ上 克（宮崎大学学長）

講演 | 14:10～14:50

「心血管ホルモン・アドレノメデュリンの発見から新薬開発の挑戦へ」

北村 和雄（宮崎大学 医学部 教授）

パネルディスカッション | 15:00～16:10

「地方大学の新たな挑戦」

コーディネーター

中里 雅光（宮崎大学 医学部 教授・日本学術会議九州・沖縄地区会議連携会員）

パネリスト

北村 和雄（宮崎大学 医学部 教授）

寒川 賢治（国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 名誉研究所長・理事長特命補佐）

古谷 真優美（京都大学 学術研究支援室 リサーチ・アドミニストレーター）

井田 隆徳（宮崎大学 フロンティア科学総合研究センター 准教授）

16:10～16:15 閉会挨拶

君塚 信夫（日本学術会議九州・沖縄地区会議代表幹事）

お問い合わせ先

宮崎大学 研究国際部 研究推進課 総務係 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

TEL.0985-58-2882 FAX.0985-58-7860

■主催：日本学術会議九州・沖縄地区会議 ■共催：宮崎大学

■後援：宮崎県、宮崎市、宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会、公益財団法人日本学術協力財団

